

BRUTUS[®] 特別編集



合本

読書入門。

ブルータス恒例の本特集、
3年分が1冊に。全714冊！

MAGAZINE HOUSE MOOK

15
人々の
生き方を辿り
思考する。

並木裕太

「ノウハウ本」では、人の思考は豊かにならない。

気鋭のコンサルタント並木裕太さん。彼は常々、ヒップホップ、スポーツ、ファッションなど、多彩な領域で活躍する人物の書から、ビジネスに必要な心構えや哲学を読み取っている。そこに共通している「自ら思考し、行動せよ」というメッセージこそが、非常に重要だと考えているからだ。

アメリカの名門コンサルティング会社「マッキンゼー・アンド・カンパニー」の日本支社40年の歴史において、最も若くして役員に就いた男、それが並木裕太さんだ。現在は自身の会社「フィールドマネージメント」を率い、JAL、ソニー、Jリーグ等に対するコンサルティング業務を機軸としつつ、スポーツ改革やイベント運営、執筆活動など、多彩な領域に活躍の場を広げている。いわば「業種にとられない働き方」を実践している並木さんだが、この「働き方」を確立するまでには、あ

る一冊の本からの影響が、少なからずあったという。「フリーエージェント社会の到来」「雇われない生き方」は何を変えたかである。

「読んだのは2000年代前半で、当時はまだ、マッキンゼーに勤めていました。例えば、ひとつの組織に属しているとか、オレの職業はこれなんているのは古い」ということが書かれているので、ややもすると「アタマ大丈夫？」と思われる部分があったかもしれない(笑)。でも僕はそこから、これからこんな世の中になるから、お前の生き方を見つけて」といったメッセージを感じ取ったんです。僕にとつてそれは生き方のゲームチェンジを意味し、本当にそんな世の中になったとしたら、どんな自由な気分になるんだろうとワクワクしたことを覚えてます。一つの組織に縛られない働き方への強い憧れは、10年の時を経て、自由な集団を作るといった具体的なアク

ションへと収斂していった。フィールドマネージメントの設立である。「今から思うと、実際に起業をするほど強い決意を持たなかった理由は、「フリーエージェント社会の到来」の中に、明確な答えが書いてなかったからだと思います。つまり、自分で思考して自分なりの結論に至ったわけで、例えば、「こうしなさい」とか「この10個を実践すれば大丈夫」といったことが書かれたノウハウ本では、行動を起こすような強い気持ちには、決して湧き起こらなかったのではないかと思うんです」

実際に行動へと誘う本こそが真に優れたビジネス書。「すぐにでも現世御利益にあやかりたい」という欲望の表れなのか、ベストセラーランキングには、常にノウハウ本が入っているのが今の世だ。しかし、本当にゲームチェンジを起こしたいのであれば、「ある

ルール」を大切にすべきだと並木さんは考えている。「空・雨・傘」という、コンサルタントの思考法に基づいた読書術である。

「書店でビジネス書のコーナーへ行くと、この7つを実現すると、あなたは明日からイケてるビジネススマンになれる」といった露骨なノウハウ本がたくさん並んでいます。でも、たとえ金持ちになれるノウハウがあるんだとしても、少なくとも1500円の手に入るほど簡単じゃない。「Bloggoo」に食べ物の写真を載せまくることをフィールドポルンと言いますが、こういった本はノウハウポルンとも言うべきもので(笑)、成功の秘訣はないと考えています。ノウハウではなく、ゲームチェンジを起こした人の人生こそを振り返り、自分でそのエッセンスを吸収できるように読書をするべきだと思うんです。具体的に言うと、本に書かれていること(IIファクト)から意味合い

を抽出して(II自分の解釈)、アクションにつながる……。そんな読み方をするといいのではないでしょうか。空さえ見せてくれれば(IIファクト)、きっと雨が降ることがわかる(II解釈)ので、今日は傘を持って(IIアクション)となるはずですから。「フリーエージェント社会の到来」も、まさに「空」しか書かれていないわけですが、そういう本は、読んでいる人によって多様に解釈される豊かさを備えています。

その一方で、傘を持っていきなさい(IIノウハウ)まで書いてある本からは、なかなか自発的なアクションが生まれ得ません。そういったこともあって、僕はビジネス書としてきたのかという本や、こう悩んでいるといったことが書かれている本が真っ先に思い浮かぶんです。以上のような視点でセレクトされたのが、この10冊だ。カテゴリーは



日本を代表する企業の経営コンサルタントを務める一方で、プロ野球オーナー会議への参加など、活動は多岐にわたる。

photo/Shinichiro Fujita text/Tomonari Cotani

生き方に触れ、思考を豊かにする10冊。

CASE STUDY vol.1

時代を動かしたゲームチェンジャーたち。

『フリーエージェント社会の到来』
ダニエル・ピンク／著 池村千秋／訳
著者は学者や政策担当補佐官、スピーチライター等の活動をしてきたフリーエージェント実践者。出版から約14年、予言した社会に近づいた今こそその発言を噛み締めたい。ダイヤモンド社／1,800円。

『マネー・ボール』
マイケル・ルイス／著 中山晋／訳
アメリカの文化であったベースボールに、経済原理とビジネスの息吹を吹き込んだルイスはまさにゲームチェンジャー。「昨日よりもマシ」ではなく、明日を作る勇気を与える一冊。ハヤカワ・ノンフィクション文庫／940円。

『縦の美学』
湘南ベルマーレ／編
勝利というプロスポーツの常識にとられず、自分たちの存在意義を徹底的に問い直し、面白いサッカーを目指すという結論に辿り着くまでのプロセスは、さまざまな職業において成り立つ思考法。湘南ベルマーレ／926円。

CASE STUDY vol.2

これからのビジネスに効く人生譚。

『マッキンゼーをつかった男』
マービン・パウワー
エリザベス・ハース・イーダスハイム／著 村井章子／訳
経営コンサルタントという誰も見たことがないビジネスを作った男。言葉一つで仕組みを開拓したその生き様に学ぶ。ダイヤモンド社／1,800円。

『ラッセル・シモンズの成功哲学』
ラッセル・シモンズ、クリス・モロイ／著 菊池淳子／訳
デフ・ジャム・レコード創業者の自叙伝。ゲッターに生まれ、知恵とタフさを頼りにのし上がるまでの道のりは、ビジネス全般において参考になる点が多数。フィルムアート社／1,700円。

『The Winner Within』
Pat Riley
NBAで大成功を収めた男が、そのキャリアにおいて最も不遇だった時代に書いた一冊。成功する男が葛藤する様子は、これからトップを目指す際の参考になるはず。Berkley／16ドル。邦訳『ザ・ウィナーズ』が講談社より出版。

CASE STUDY vol.3

ビジネス書コーナーには並ばない「ビジネス書」。

『自分をあきらめるにはまだ早い』
手塚真輝
歌舞伎町のカリスマホストの手記。扱いづらい不良たちの心を捉えるマネジメント術からは、業績やお金で集めた組織では到底辿り着かない強い組織を作り上げるためのヒントが見つかるはず。Discover21／1,300円。

『Empire State of Mind』
Zack O'Malley Greenburg
音楽業界の罟を破壊し、自らをブランド化することで帝国を築いたJay-Z。そんな彼の人生をジョブズやパフェットといったビジネス界の重鎮たちになぞらえながら振り返るという視点がユニークな一冊。Portfolio／15ドル。

『Style』
Lauren Conrad
人気セレブのスタイルブック。「今の仕事に合った格好をしてはダメ、自分のしたい仕事のファッションを続けたい」という思いが込められた一冊。HarperCollins／12.99ドル

CASE STUDY vol.4
本物とは何か? を絵本から学ぶ。
『ないた あかおに』
浜田廣介／文 池田龍雄／絵
欲望とは何か、信頼とは何かを、深く考えさせられる物語。結論を書き切らない点も、強い余韻と想像力を読者に与える一因。この本を「ビジネス書」と捉えることでさまざまな「本質」に気づかされるはずだ。徹成社／1,000円。

4つ。それぞれ「時代を動かしたゲームチェンジャーたち」「これからのビジネスに効く人生譚」「ビジネス書コーナーには並ばない」「ビジネス書」を、そして「本物とは何か?」を絵本から学ぶ。である。一体、どういう基準なのだろうか? 「いつの時代の話にせよ、ゲームチェンジが起こった瞬間に触れると、自ずと、自分も変わらなければいけない」という感覚が湧き出てくるはず。そういう意味では、ゲームチェンジャーたちの人生を追体験できる本は、時代を超えた名著といえると思います。次に、「人生譚」ですが、何かを成し遂げた人の人生を振り返ることは、ビジネススクールの授業よりよっぽど勉強になる部分がある、ということを知ってもらいたくて挙げました。それにビジネス本というのは、あまり読んでいてこそ、人に見られたくないものですが、

「ヒップホップ界のカリスマの一人であるラッセル・シモンズのビジネス書」なんていうのは、それだけでジャケ買いの対象になるはず(笑)。3つ目のカテゴリーは、アタマの中の想像力をものすくく働かせないといけないシリーズ。じゃないと、一見、あるホストの、とある「一日」としか読めませんから。でも、思考を豊かにすることこそが読書の醍醐味だと思うので、ぜひここから「ビジネス」のエッセンスを抜き出してほしいと思います。

では、最後の絵本はいつたい? 「ビジネスにおいて、オリジナルであることや本物であることは非常に重要なことなのですが、それを手にするための近道はない」ということを、『ないた あかおに』という物語は実に示唆に富んだカタチで教えてくれます。大人になった今こそ、この作品の再読をお勧めしますね。

profile

Yuta Namiki

1977年ベルギー生まれ。フィールドマネージメント代表取締役。慶應義塾大学経済学部卒業。2000年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社、史上最年少で役員に。09年に独立、フィールドマネージメントを設立。著書に『経営コンサル100年史』(Discover21)など。



人々の生き方を辿り思考する。—— 並木裕太